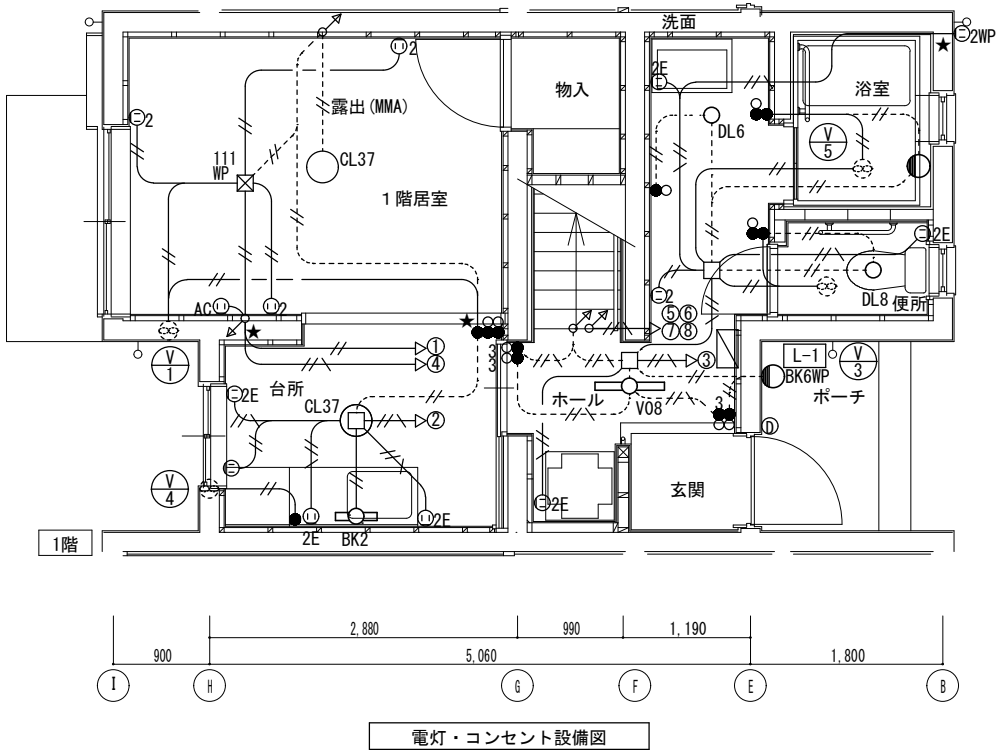
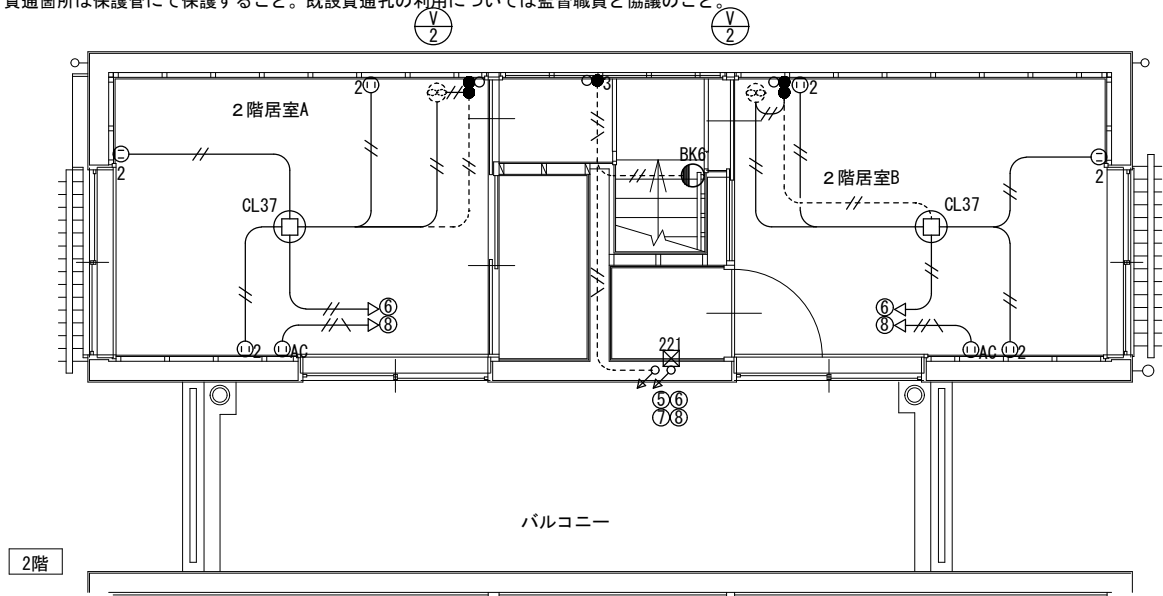






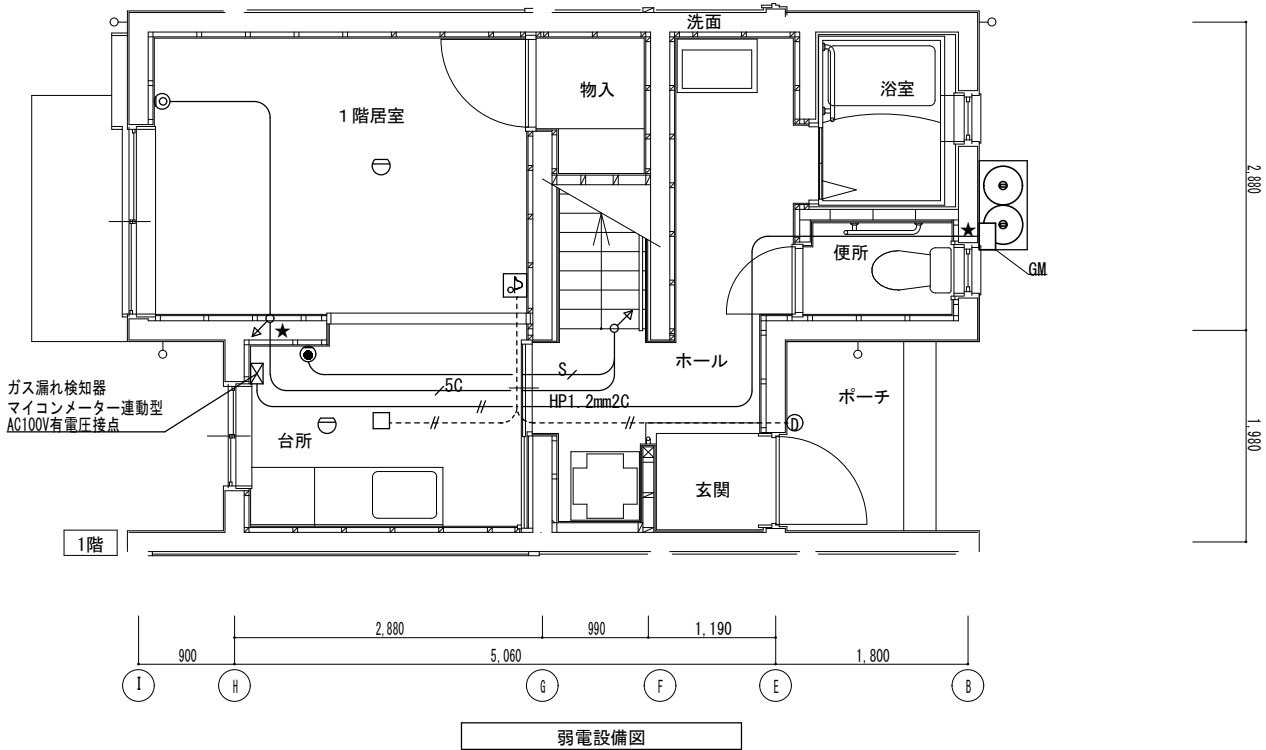
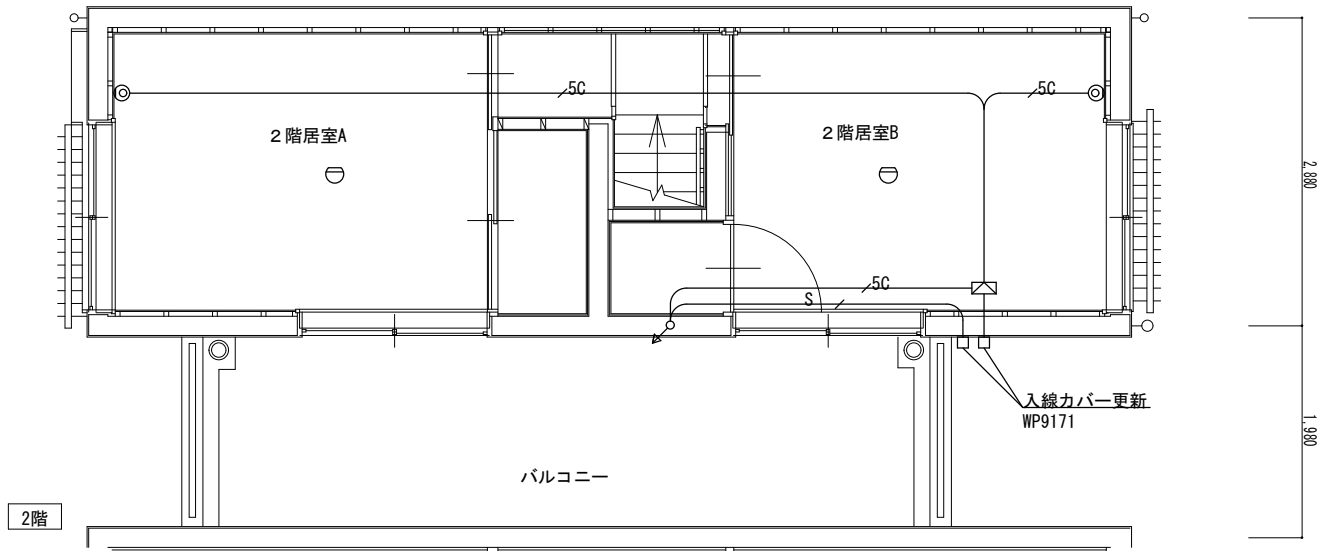
——//\——	EM-EEF2.0-3C
——//——	EM-EEF2.0-2C
-----//\-----	EM-EEF1.6-3C
-----//-----	EM-EEF1.6-2C

二重天井内はケーブルころがしとし、立上げ、立下げ箇所は保護管にて保護すること。(PF16)  
床下配線については保護管にて保護すること。(VE16)  
スイッチ、コンセント類の取付位置は、火気・水場からの離隔を考慮し、監督職員と協議のこと。  
★壁・床配管貫通孔を示す。貫通箇所は保護管にて保護すること。既設貫通孔の利用については監督職員と協議のこと。



注記)  
1・特記なき配管配線は下記による。

—S— : TEL用空管 (PF16)  
—5C— : S-5C-FB (PF16)  
-----//\----- : EM-EEF1.6-2C



工事名称

令和6年度　市営住宅枝山住宅長寿命化型改善工事機械設備工事

仕様書（機械設備の部）

I

工事概要

1. 工事場所　志摩市地内

2. 建物概要

建　物　名　称	構造及び階数	国・延面積	建・延面積	消防法施行令の適用	耐震区分	備　考
市営住宅	R02階建			別表第 1（5）項口		

3. 工事種目（○印の付いたものが対象）

工事項目	工　事　種　別						
	建物別及び屋外	市営住宅					屋　外
・換気設備	○						○
・衛生器具設備	○						○
・給水設備	○						○
・排水設備	○						○
・給湯設備	○						○
・ガス設備	○						○
・浄化槽設備							○

4. 指定部分　○ 無　　　・ 有  
対象部分：-----

5. 設備概要（○印を付けたものは、本工事あるいは既設設備の概要を示すもので、仕様を規定するものではない。）

方式及び種別	設　　備　　概　　要
○ 給水方式	○水道直結方式 ・高置タンク方式 ・圧力タンク方式 ・ポンプ直送方式 ・増圧給水直結方式
○ 排水方式	建物内汚水、雑排水（ ・合流式 ○分流式 ） ポンプ排水 ・有（ ・汚物 ・雑排水 ・湧水 ） ○無 建物外放流先 汚 水（ ・直放流下水管 ○合併処理浄化槽 ） 雑排水（ ・直放流下水管 ○合併処理浄化槽 ）
○ ガスの種類	・都市ガス（種別 ○ 発熱量 MJ/m <sup>3</sup> (N) 供給事業者名 ) ○液化石油ガス（ ○ ポンベ ・ バルクタンク ・ ）

工事区分表（図面に特記なき場合は工事区分表による）

項　　目		機　械　設　備	建　築	電　氣　設　備
換気扇の取付け枠		○		
湯沸室等流し台	排水トラップ共			○
湯沸室等の排気フード	ステンレス製天蓋			○
床、天井点検口				○
機器と付属操作スイッチとの張り配管経路（接地共）		○		
改修工事	コンクリート壁、床など	はつり 瓦補修	○	
		仕上げ補修		○
	天井、壁などのボード類	撤去（ボード類のみ）	○	
		撤去（下地開口補強を含む）		○
		復旧		○

II

工事仕様

1. 共通仕様

（1）図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁官庁官庁制定の標準仕様書等によるものとし、○印のついたものを適用する。

- 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）(令和４年版)(以下「標準仕様書」という)
- 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）(令和４年版)(以下「改修標準仕様書」という)
- 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）(令和４年版)(以下「標準図」という)

（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。

2. 特記仕様

（1）章は●印の付いたものを適用し、項目及び特記事項は○印の付いたものを適用する。

（2）特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用する。

（3）受注者は、南海トラフ地震防災対策推進地域における工事にあつては、南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な増強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。  
上記事実が発生した場合は、契約書第 26 条（臨機の措置）の規定による。

章　　項　　目

発生材の処理等

金属類は引渡しを要するものとする。

- ・特別管理産業廃棄物（ ・ ）
- ・構外搬出適切な処理 ・ 別途工事
- ・石綿含有品（ ・ 配管用成形保温材・フランジ用ガasket（ ・ 配管 ・ ダクト ）
- ・構外搬出適切な処理 別途工事
- ・再生資源化を図るもの （ ・ 塩ビライニング鋼管 ・ 臭化リチウム ）
- ・構外搬出適切な処理 別途工事

上記以外のものの処理は構外搬出適切な処理とする。  
本工事は、特定建設資材を用いた建築物に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であつて、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成１２年１月２９日法令第４９５号）」又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成１２年５月３１日法律第１０４号）に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。  
工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議することとする。  
また、分別解体・再資源化等の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等に要した費用を書面に監督職員に報告する。（書式は「建設副産物情報交換システム」で作成したものとする）

（1）分別解体の方法

工　程	作業内容	分別解体の方法
・新築	建築設備工事	・手作業
・増築	・有	・手作業・機械作業併用
・修繕	・無	
・模様替		

（2）特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等を要する施設

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等を要する施設名称	所　在　地
・コンクリート		
・コンクリート及び鉄から成る建設資材		
・木材		
・アスファルトコンクリート		

届出に係る事項の説明時に上記と異なる施設（同種の再資源化等を行う施設に限る。）を受注者が提示した場合は、当該施設に搬出することができる。ただし、当該施設への変更については設計変更の対象としない。

○構内敷きならし

本工事は、建設発生土情報交換システム（以下「システム」という。）の登録対象工事であり、受注者は、工事の実施に当たっては土量、土質、工期等に差異があった場合、速やかに当該システムのデータ更新を行うものとする。尚、これにより難しい場合には、監督職員と協議しなければならない。  
構外搬出（片道運搬距離 約 km）  
D/D 区間（ ・ 有 ・ 無 ）

（1）本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成１２年法律第１００号）」に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成１３年２月閣議決定）」に定める特定調達品目の分野「公共工事」の品目を関連する場合は、判断の基準等を満たすものとする。

（2）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の１から４を満たすものとする。

- 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びステレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
- 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
- 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難燃発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
- 1 の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びステレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

（3）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の１又は２に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の３又は４に該当する材料を指す。

- 建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建筑材料以外の材料
- 建築基準法施行令第２０条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
- 建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建筑材料
- 建築基準法施行令第２０条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

（1）本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

（2）別表－１に機材等名が記載された製造業者等は次の１から６すべての事項を満たす証明となる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。ただし、次の１から６すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は、証明となる資料等を省略することができる。

- 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
- 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
- 安定的な供給が可能であること。
- 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
- 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
- 販売、保守等の営業体制を整えていること。

5. 機材の品質等

6. 足場その他

7. 埋戻し土及び盛土

8. 施工図等

9. 機材の承諾図

10. 総合調整

11. 電動機

12. 電源周波数

13. 容量等の表示

14. 弁類

15. 保温

16. 塗装

17. はつり

18. その他

○別契約の関係受注者（下請け工事の場合は元請け）が定置したものは無償で使用できる。

○根切り土中の良質土（コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類）・山砂の類

本工事で作成する施工図等のうち、次の原因及びその複写図(1部)を監督職員に提出する。ただし、製作図等で原因として提出ができないものは、原因に代わるものとしてよい。  
なお、施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲する。  
機器製作図 一式、制御システム図 一式  
試験成績書 一式、機器・配管固定の施工図 一式

機械設備工事機材承諾図様式集（平成２８年版）によるほか、監督職員の指示による。

○本工事として下記項目の計画書及び測定報告書を提出する。 ・ 別途とする。  
調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。）

衛生器具表																					
名 称	LIXIL	備 考	TOTO	備 考																	
					2号室					3号室				3号室							
					便所	脱衣	ホール	屋外		便所	脱衣	ホール	屋外		便所	脱衣	ホール		屋外		
洋風便器	BC-Z30S	DT-Z380（タンク・手洗付）	CS232B	SH233BA（タンク・手洗付） TC291（普通便座）	1						1					1					3
		CF-39AT（普通便座） CF-008-1（分岐金具）																			
紙巻器	CF-AA23D	一連紙巻器	YH51R	一連紙巻器	1						1					1					3
手すり	NKF-520	L型600×600	TS134GLCY7S	L型600×600	1						1					1					3
タオル掛け	KF-AA71D		YT500S4		1						1					1					3
洗面化粧台	FTV1N-754	LF-3SF（止水栓） MFTXE-751YJU（ミラーキャビネット）	LDPB075BAGEN2A	LTL4D13UF（止水栓） LMPB075A1GDC1G（ミラーキャビネット）		1						1					1				3
洗濯機パン	PF-6464AC	TP-52（排水トラップ） LF-WJ50KQA（洗濯機用水栓）	PWP640N2W	PJ2008NW（排水トラップ） TW11R（洗濯機用水栓）			1					1					1				3
立水栓	6160-900（カクダイ）	LF-7RG-13（キー式横水栓）	6160-900（カクダイ）	T200CSNR13（キー式横水栓）				2					2					2			6

その他付属品は一式とする。

換気設備機器表										
記号	機器名称	形式・仕様	相	電圧	消費電力	(参考値) 接続管径	騒音値	台数	据付位置	参考品番
			Φ	(V)	(W)	(φ)	(dB)			
V-1	パイプファン	型式 角型格子 風量 55m3/h 5Pa 丸型フード（ガラリ・防虫網付） 他付属品 一式	1	100	4.7	100	31.5	3	2号室1階居室 3号室1階居室 4号室1階居室	V-08PPFL8
V-2	天井扇	型式 標準型 風量 60m3/h 50Pa 丸型フード（ガラリ・防虫網付） 他付属品 一式	1	100	2.5	100	21.5	6	2号室2階居室AB 3号室2階居室AB 4号室2階居室AB	VD-10ZVEC7-FP
V-3	天井扇	型式 標準型 風量 50m3/h 60Pa 丸型フード（ガラリ・防虫網付） 他付属品 一式	1	100	1.8	75	25.5	3	2号室便所 3号室便所 4号室便所	VD-07ZVC7
V-4	換気扇 電機シャッター式	型式 標準型 風量 672m3/h フィルター ウェザーカバー（防虫網付） 取付枠 他付属品 一式	1	100	25.5	-	34.5	3	2号室キッチン 3号室キッチン 4号室キッチン	EX-25EF9
V-5	天井扇(親子扇) ユニットバス付属品	型式 標準型 風量 -m3/h -Pa 丸型フード（ガラリ・防虫網付） 他付属品 一式	1	100	-	-	-	3	2号室浴室 3号室浴室 4号室浴室	
0A-1	自然吸気口	風量 CMH 丸型フード（ガラリ・防虫網付） フィルター 他付属品 一式	-	-	-	100	-	9	2号室居室各所 3号室居室各所 4号室居室各所	P-13WQU
	天井換気口改修部材	丸型フード（ガラリ・防虫網付）	-	-	-	100	-	24	2号室ベランダ 3号室ベランダ 4号室ベランダ	P-18FSQ5

\*消費電力、騒音値は参考とする。フード等についてはステンレス製とし指定色焼付塗装とする。

浄化槽参考図 N/S

ダイキアクシス浄化槽

型式	XH-5
認定番号	8-22-H-001
分類	合併処理
地耐力	33kN/m2以上
処理計画人員	5人
処理計画汚水量	1.0m3/日
流入水質	BOD 200mg/L COD 100mg/L SS 160mg/L T-N 45mg/L T-P 45mg/L
放流水質	BOD 20mg/L 除去率90% COD 30mg/L SS 20mg/L T-N 20mg/L
処理方式	横流夾雑物除去接触ろ床循環方式
有効容量 (m3)	1.074
横流夾雑物除去槽	0.364
接触ろ床槽	0.141
処理水槽	0.021
消毒槽	電気機器仕様
プロワ	100V-単相-28W 1台

注記  
スラブ荷重は、T-2とする。  
コンクリート強度：F<sub>c</sub>=21N/mm<sup>2</sup>とする。  
開口部補強筋を設けること。  
開口部補強筋の定着長さは、L=40dとする。  
マンホールは、FRP製とする。  
上部スラブ配筋については躯体際で差し筋アンカー（D10L450@200）へ結着すること。

排水樹リスト

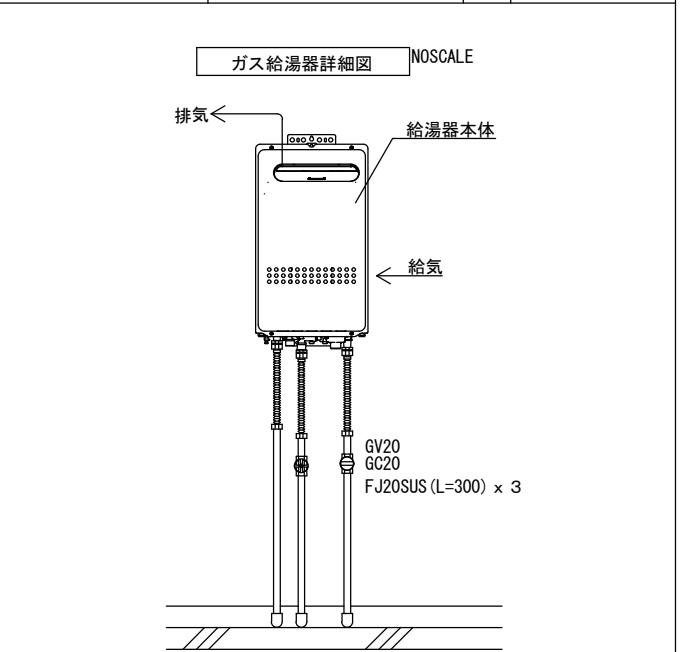
番号	名称	形状	主管口径	樹口径	蓋種別	管底深さ
①	汚・雑排水樹	90L	75A	150A	塩ビ蓋	-220
②	汚・雑排水樹	90Y	100A	150A	塩ビ蓋	-230
③	汚・雑排水樹	90L	100A	150A	塩ビ蓋	-240

雨水樹リスト

番号	名称	形状	主管口径	樹口径	蓋種別	管底深さ
①	雨水樹	90Y	100A	150A	塩ビ蓋	-310
②	雨水樹	ST	100A	150A	塩ビ蓋	-290

注記  
\* 基準地盤高は参考とする。  
\* VP管の樹接続については偏心継手を使用すること。  
\* 浄化槽の設置については狭小地への設置である為、施工について監督職員との協議を密にし、土質等の状態を確認の上、側溝の撤去・復旧についても検討すること。

給湯機器表			
記号	名称	形式、仕様	備考
GWH-1	ガス給湯器	型式 : 屋外壁掛型 能力 : 20号 ガス消費量 : 43.6 Kw ガス種 : LPG 付属品 : 標準リモコン 配管カバー リモコンコード 他一式 電源種別 : 1φ 100V	3 設置場所 : 各戸屋外



給湯器の固定方法及び部材仕様					
固定場所	部材仕様 (付属部品)	設置種別	固定本数	引張り耐力	備考
木壁固定	木ねじ (JIS) φ4.8×38	壁掛け 据置 (上部固定あり)	4 2	0.3kN/本以上 (木下地15mm)	
R C壁固定 A L C壁固定	木ねじ (JIS) φ4.8×38 フィッシャープラグ S X 6×30	壁掛け 据置 (上部固定あり)	4 2	0.3kN/本以上 (左記の木ねじと プラグ組合せ時)	
P S 固定		P S 標準 P S 扉内			

